

OBM マンスリー

2011.10月号 Vol.138

2011 年 10 月 25 日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

そこが知りたい Q&A

ヒューマンフェア について



「ヒューマンフェア'11 in 新潟」が10月13日、14日の2日間、新潟市の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで開催されました。大阪協会からは全国ビルクリ技能競技会やベスト・インスペクター賞受賞発表会などに参加しました。ヒューマンフェアって何なのか？全協のインスペクターの専門委員、ビルクリーニング検定問題作成委員を担当している佐々木洋信副会長（写真）にインタビューしました。

Q 新潟での大会には大阪協会からも大勢の会員が参加されましたね？

佐々木副会長）今年の大会テーマは「ときめいて新潟、かがやいてビルメンテナンス」です。東日本大震災に負けないように副題として「頑張ろう日本！」がついています。大阪協会ではビルクリーニング部会、経営委員会、労務委員会、そして広報委員会など約40名が参加いたしました。

Q ビルクリ技能競技会では近畿勢が頑張りました。

佐々木）全国ビルクリ技能競技会は今年で12回を数えます。ヒューマンフェアの目玉のような存在です。今回は近畿地区代表として島林紀子さん（JR西日本メンテック）、山中優子さん（ビューテック）、小河隆宏さん（朝日建物管理）の3人が出場しました。全国の各地区から選ばれた18人が素晴らしい技術を披露しました。その結果、山中さんが新潟県知事賞（2位入賞）、小河さんが中央職業能力開発協会賞（5位入賞）を受賞し、島林さんを含む3名は建築物管理訓練センター理事長賞を受賞されました。

Q そのほかに大阪協会関係者の受賞が相次ぎましたね？

佐々木）第3回ベスト・インスペクター賞受賞発表会では、6名の受賞内定者により優秀な品質管理や改善効果が発表され、この場で大賞と特別賞が決定されました。宮本貴司さん（近鉄ビルサービス）は特別賞を受賞しました。このほか、「ビルメンテナンス」誌500号記念懸賞作品の優秀賞に大川美絵子さん（空港施設管理）が選ばれました。

Q 「ヒューマンフェア」とは素敵なネーミングですね。

佐々木）全国ビルメンテナンス協会の2年に1度の研究発表会、というか2年に1度のお祭りですね。今年で11回を迎えました。最初、1991年に高度職業技能開発促進センターで始めたのがきっかけです。第2回全国ビルクリーニング競技会、ユニフォームコンテスト、資機材展示会などで構成され、7,000名の参加者がありました。このとき「クリーンクルー」という名前が誕生しました。2回目は東京都立産業貿易センターで開かれ、14,800名の参加者がありました。3回大会ころからプログラムも多くなりお祭りムードが高まりましたね。

Q 大阪でも開催したことがあるのですか？

佐々木）1997年に「もっと大きな信頼の確立を」をテーマに、会場は大阪市のマーチャンダイズ・マートとエル大阪を舞台に開催しました。全国から22,000人も参加者がありました。

Q 今回の具体的な内容はどのようなものだったのでしょうか？

佐々木）開会式の後、「障がい者の技能発表会」やシンポジウム「障がい者支援を考えるパネルディスカッション」「地震災害におけるビルメンテナンスの役割」、「省エネ技術発表会」などがありました。「障がい者支援を考えるパネルディスカッション」には、大阪協会の福田久美子理事がパネラーとして参加しました。

Q 新潟は2004年10月（新潟中越地震）と2007年7月（新潟中越沖地震）の2度にわたって大きな地震を経験しています。今回の大会でも、東日本大震災の影響が随所に感じられました。

佐々木）シンポジウム「地震災害におけるビルメンテナンスの役割」では、「阪神・淡路大震災」の際の報告（兵庫県協会 石原 勉氏）、東日本大震災の被害に遭われた方からの発表もありました。「OBMこみゅにけ〜しょんず」盛夏号でも特集しましたが、岩手、宮城、福島の方の被災報告は聞く者の心を打ちました。実際、関西をこのような震災が襲ったら我々はどのように対処できるのか、身につまされました。

Q 会場では資機材の展示が行われていましたね。

佐々木）これがヒューマンフェアの売り物の一つになっていますね。70社以上が出展していました。関西環境開発センター（KKC）もビルメン関係の出版物の展示即売をしました。会場の朱鷺メッセは信濃川が日本海に注ぐ河口にあり、新潟のシンボリックな存在です。

スームアップ



2012年問題

数年前に2007年問題という企業の経営課題があった。いわゆる団塊の世代の大量退職に伴う人員問題である。弊社は定年が65歳となっており2007年問題は対岸の火事であるがごとく何事もなく経過したが、5年後の2012年問題が今まさに弊社の重要課題となっている。収益の大部分を占める清掃事業において、今日まで携わってきたクリーンクルーの多くの人達が23年度末から約3年間大量退職を迎える。

清掃業は技術者の集団である。

永年に亘り培ってきた技術及びノウハウを持った多くのクリーンクルーの人達が退職していく。

退職を迎えるクリーンクルーは社員として採用された人達である。

最近では親会社のコスト削減の煽りを受け、毎年、親会社からの業務委託が低減されてきており、右肩下りの収益に歯止めが利かない状況となってきた。

その中でクリーンクルーの確保はパートタイマーの採用により対処してきた。いまではクリーンクルーの約7割がパートタイマー等である。

パートタイマーは雇用定着率が不安定であり、最近では採用も儘ならない。

そのような状況のなか、清掃事業の将来を担うことの出来るであろう人材を確保し、技術継承及びノウハウを引き継いでいくのが喫緊の課題となってきた。

そのために契約社員への採用制度を導入し、更には正社員への採用を実施することとしたが、はたして2012年問題の解

決になる特効薬と成るのか。

一方では、安価で安全と安心を与える高品質な清掃を求められているところであるが、コストバランスを更に検討することも必要であるかもしれない。

いずれにしても、65歳を迎え今日まで清掃事業を支えてきた多くのクリーンクルーの人達の退職が「待ったなし」に訪れてくる。

継続して事業活動を展開し、従業員の雇用確保をしていくためには避けて通れない課題である。

技術・ノウハウは会社の財産である。

この財産である技術とノウハウを後継者にどのようにして継承していくか会社の将来を揺るがしかねない重要な経営課題になりつつある。

(広報委員 仙度 清将)

23年度 第7回 理事会

10月7日(金) 協会会議室

1. 審議事項

- ①(株)クー入会について／承認
- ②和歌山災害支援について／承認
- ③(株)Coo-Shinについて／承認
- ④中間監査について／10月28日に

決定

2. 報告事項
①委員会部会報告
3. その他

委員会・部会

経営委員会

9月22日(木) 出席者8名 協会会議室

1. 青年部活動報告
①11月10日に鳥取にて開催される全国大会に参加。
②見識を深める為に理事に話を頂く勉強会開催を検討。
2. 講演会について
11月15日にラマダホテルで講演会を開催することを決定。(詳細は後掲)
3. 相談窓口について
事前アンケートにつき次回10月までに草案を作成することとした。

青年部分科会

9月22日(木) 出席者2名 協会会議室

1. 青年部分科会の本年度事業活動内容について
①ビルメンテナンス青年部全国大会について
②勉強会、講習会、研修会の開催

広報委員会

9月15日(木) 出席者7名 協会展示室

1. 「OBMマンスリー」H23年9月号の編集作業を実施した。
2. 「OBMマンスリー」H23年10月号の掲載内容を検討した。

3. 「OBMこみゆにけーしょんず」新春号の掲載内容を検討した。
4. 「ヒューマンフェアin新潟」の取材体制を検討した。

総務友好委員会

9月16日(金) 出席者13名 協会会議室

1. ソフトボール大会の反省
2. ゴルフ大会につき事前打合せ
3. 会員募集用資料の作成を検討

賛助会世話人会

9月21日(水) 出席者9名 協会会議室

1. 世話人会打合せ
講習会事前打合せ
2. 製品講習会
①参加会員様／賛助会員様
・参加予定：正会員33社 58名
・出席者：正会員34社 47名
②装栄株式会社
「OCCSオービタルカーペットメンテナンスのご提案」
・デモを有効に活用し製品の特徴を説明
・ニーズマッチされる会員様への具体的提案等
- ③ノーリス株式会社
「今話題のバイオ製品の基礎知識」
・科学的見地からのバイオ製品のクリニック
- ④アンケート実施

労務委員会

9月13日(火) 出席者14名 協会会議室

1. 安全パトロールについて
①日 時…11月7日(月)
②訪問施設…(株)ジェイアール西日本メンテック様 大阪北エリア営業所
2. 労働衛生大会の事前打合せ
3. 全国産業安全衛生大会の参加者を決定
4. K Y T (危険予知訓練) 実務講習会を10月25日に開催することを決定
5. 労災・通災事故事例について
7月度報告 85社
業務災害…14件 通勤災害…2件
8月度報告 70社
業務災害…8件 通勤災害…2件

9月28日(水) 出席者317名 ドーンセンター
第26回労働衛生大会

1. 日 時 平成23年9月28日(水)
2. 場 所 ドーンセンター
3. 参 加 者 317名(申し込み370名)
会 員273名(76社) 非会員17名(11社)
他協会9名(6団体) 労務委員他 18名
4. 次第
①来賓挨拶 大阪労働局健康課長 本多耕造様
②衛生講演 大阪労働局健康課 労働衛生専門官 井内一成様
テーマ「ビルメンテナンス業における労働衛生管理について」
③ビデオ上映「自転車も車両です～交通安全への意識改革～」
④特別講演 深田安全衛生研究所 深田朝則様
テーマ「高齢時代の安全・衛生～災害防止のためのガイドライン～」
5. 来年の予定
①労働安全大会 H24年6月22日(金)
②労働衛生大会 H24年9月28日(木)
会場はいずれもドーンセンター

ビルクリーニング部会

9月29日(木) 出席者18名 協会会議室

1. B班9月度小委員会報告

- 「トラブル事例と対処法」書式の検討
2. A班9月度小委員会報告
新委員を含めた各章の担当確認、及び各章の目次・構成内容を委員の提出資料をもとに検討
3. 分科会検討内容の報告

警備防災部会

9月9日（金）～10日 参加者14名

1. 夏季特別研修の実施
部会OB4名を含む総勢14名で、和歌山県田辺市及びその周辺において研修・視察を実施した。
今回の研修・視察では防災意識の向上を目的に、「稲むらの火の館」（田辺市）を見学した。これは、戦前に小学校の国語教科書に掲載された、安政南海地震（1854年）が題材の「稲むらの火」をテーマにしたもので、防災に関する興味深い展示が多数存在した。

設備保全部会

9月22日（木）出席者4名 協会会議室
管理技術調査研究小委員会

1. 技術レポート「非常用電源について」のアンケート調査について
①管理技術調査研究小委員会の平成23年度活動テーマである技術レポート「非常用電源について」の作成にあたり、アンケート項目について意見交換した。

9月22日（木）出席者19名 協会会議室

設備保全部会第5回委員会部会

1. 各小委員会活動報告
（管理技術調査研究）
・非常用電源のアンケート項目について（研修・見学会）
・8月25日「電気事故と安全対策講習会」報告
・JR大阪駅（ルクア他）施設見学（10月19日）について（設備保全業務研究）
・SLAについて（環境衛生業務研究）
・なんばパークス見学予定（10月）（その他）
①東洋バルブ製「緊急遮断バルブ」について
②パナソニック電工との共同主催による研修について
③設備管理業務インスペクションガイドブックについて
④SLAについて
⑤東西交流会討議のテーマについて（3部会予定）
1）SLA
2）節電・省エネ関係
3）管理技術調査研究会で問題提起

講習会等のお知らせ

◆（財）ビル管理教育センター

- 統括管理者（再）
平成23年12月26日（月）～27日（火）
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年11月10日（木）～16日（水）
- 貯水槽清掃作業監督者（再）
平成24年1月12日（木）～13日（金）

於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年11月25日（金）～12月1日（木）

※平成21年度より（財）ビル管理教育センターへ直接、用紙の請求・申し込みをしていただくことになりました。申し込み期間に提出できるよう、早めに申込用紙を請求してください。（TEL 06-6836-6605）

会員だより

●入会

〔正会員〕

- ・株式会社クー
〒555-0032
大阪市西淀川区大和田2-1-14
TEL 06-6471-2073 FAX 06-6471-2074
代表取締役 中村 彰 様
（平成23年10月1日より）

●代表者変更

〔正会員〕

- ・イオンディライト株式会社
（新）代表取締役社長 梅本和典 様
（旧）代表取締役社長 堤 唯見 様

・島屋興産株式会社

- （新）代表取締役 濱田恭一 様
（旧）代表取締役 志賀 勝 様
（平成23年10月より）

〔賛助会員〕

- ・日本水処理工業株式会社
（新）代表取締役社長 川西昌史 様
（旧）代表取締役社長 川西 隆 様

・ユシロ化学工業株式会社 大阪支店

- （新）代表取締役社長 大胡栄一 様
支店次長 笠原夏雄 様
（旧）代表取締役社長 長井禧明 様
支店長 小根森 稔 様

●会員登録名・代表者変更

〔正会員〕

- （新）東急ファシリティサービス株式会社
ホスピタリティ事業部
取締役社長 川上正弘 様
（旧）東急ファシリティサービス株式会社
関西営業所
取締役社長 磯崎浩亮 様

〔賛助会員〕

- （新）コニシ株式会社ボンド営業本部
汎用第二事業部
事業部長 巖 利彦 様
（旧）コニシ株式会社ボンド営業本部
ワックスプロダクトチーム
統括部長 杉本 紀 様

●住所・電話番号・FAX番号等変更

〔正会員〕

- ・大阪トヨタ商事株式会社
〒533-0003
大阪市福島区福島5丁目17番2号
大阪トヨタ自動車株式会社本社ビル3F
TEL 06-6454-8780 FAX 06-6454-8781
（平成23年10月12日より）

- ・大阪ガスコミュニティライフ株式会社
TEL 06-6209-2591
（FAXは 06-6226-4810 で変更ありません）

- ・株式会社ケントク
〒531-0072
大阪市北区豊崎4丁目11番17号
TEL 06-6136-3950 FAX 06-6136-3593
（平成23年11月7日より）

- ・シエル商事株式会社
〒540-0008
大阪市中央区大手前1丁目7番31号
OMMビル13F
（TEL・FAXは変更ありません）
（平成23年11月7日より）

●退会

〔正会員〕

- ・株式会社Coo-Shin
（平成23年10月14日付）



道上労務委員が緑十字賞を受賞

本協会労務委員会の道上武男委員が、さる10月12日、東京国際フォーラムで開催された「第70回全国産業安全衛生大会2011 in 東京」で緑十字賞を受賞されました。

緑十字賞とは、長年にわたり我が国の産業安全又は労働衛生の推進向上に尽くした個人等を対象に中央労働災害防止協会が行う表彰で、この度、道上委員のこれまでの功績が認められました。



スピードと丁寧さ

理事 内藤 修平

私がビルメン会社の社長に就任したとき、妻が冗談半分で「掃除は得意なので私も雇ってもらおうかしら」と話しかけてきた。「手早く掃除するのは認めるけれど、荒っぽすぎるよ。だいたい、これまでに皿を何枚割った？」と拒否しました。それを聞いていた義母が「それなら私ね、私は結婚してから1枚もお皿を割ったことないわ」と自慢しました。こちらも丁寧にお断りしました。丁寧はいいけど、時間がかかりすぎたら仕事になりません。スピードと丁寧さ。「職業としての清掃」の永遠のテーマです。

今年のヒューマンフェアは10月13日、14日の2日間、新潟の朱鷺メッセで開かれました。注目プログラムは第12回全国ビルクリ技能競技会。全国から選抜された18人が技を競いました。近畿地区から3名の代表が出場し、2人が入賞しました。自慢話で恐縮ですが、そのうちの1人はわが社のスタッフでした。

会場となったコンベンションセンターは開始前から熱気に包まれていた。壇上には2組ずつの競技枠が設けられ、正面に審査委員が座る。テレビのライトが当る。2組ずつの選手が競技開始の合図で一斉に清掃作業に取り掛かる。緊張した

表情が伝わってくる。あわてて清掃器具のコードが足にかかりそうになる。「落ち着いていけよ」「練習した通りやればいいんだ」と声援が飛ぶ。

選手にとって酷なのは、すぐ隣で奮闘しているライバル選手の動きが目に入ることだ。20分を超えると減点される。時間との勝負だが、ライバルとの勝負でもある。練習のときの自分のペースは乱されがちだ。

わが社のスタッフが練習のときに「競技会ではスピードと丁寧さとどちらが重視されるのか」と悩んでいた。私はさすが、「日ごろの清掃作業で、オーナーさまに、『早めに仕上げますか、丁寧にしますか』などと聞けないだろう。丁寧に、早くだ」と答えたが、やはり兼ね合いが難しい。

ビルクリ技能競技会は全員が18分未満で競技を終了した。優勝者は九州代表で競技時間は16分40秒。一番速くはなかったが、机の下まで丁寧にモップを入れていた。一番速かった人は15分28秒。会場から思わず「速いっ」と声が上がったが、こちらは入賞しなかった。急いでやると雑になる。丁寧にやると時間がかかる。このジレンマだ。

高校球児の憧れは甲子園球場だ。ビルメンの清掃スタッフにとっての甲子園は、2年に一度のこの全国大会だ。一つの道にかけて精進する姿は美しいし、感動する。「たかがビルクリ、されどビルクリ」だ。2年後を目指して練習が始まっている。

講演会「ビルメンナンス業界の課題と今後」のご案内

経営委員会主催の講演会を下記で開催させていただきます。今回の講師は大手シンクタンクで不動産を専門に研究され、斯業に関する造詣も深い方です。今後の経営の参考としていただきたく、会員企業の代表者や経営幹部の方々のご参加をお願い致します。

なお、お申込みは、10月21日にファックスでお送りさせていただいた申込用紙をご利用下さい。

記

1. 日時 平成23年11月15日（火） 15時開始（14：30受付開始）
2. 会場 ラマダホテル大阪 2階 大淀の間
<http://www.ramada-osaka.com/>
3. 講演 テーマ「ビルメンテナン業界の課題と今後」
講師 竹内一雅氏（株）ニッセイ基礎研究所 主任研究員
4. その他
(1) 上記講演のほかに、特定非営利活動法人大阪環境カウンセラー協会副理事長・宇田吉明氏によるエコアクション21（環境省が主催する環境に配慮した経営に関する認証制度）の取得に向けたガイダンスも行います。
(2) 講演会終了後、17時から会員懇親会を開催しますのであわせてご参加下さい。

業務改善助成金（中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金）のご案内

業務改善助成金（中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金）は、最低賃金の引上げにより最も影響を受ける中小企業を支援するため、平成23年の地域別最低賃金が700円以下の34道県（奈良、和歌山など）に事業場を置かれている中小企業事業主の方を対象として、事業場内で最も低い時間給を計画的に800円以上に引き上げる場合において、必要な経費について助成金を交付するという制度です。

大阪府内のみに本社・支店等を置かれている事業主の方は対象となりませんが、上記道県に支店、工場、営業所などを置かれている中小企業事業主の方は、当該事業場は対象となりますので、活用をご検討ください。

また、大阪労働局では、中小企業事業主の皆様からの相談にワンストップで対応する、無料の相談窓口を下記のとおり設けておりますので、この助成金の活用を含め、ご相談ください。

- 大阪府最低賃金総合相談支援センター TEL 06-4800-8188
大阪市北区天満2-1-30 大阪府社会保険労務士会事務局内
- 堺最低賃金相談支援コーナー TEL 072-226-2611
堺市堺区北花田口町3-1-15 堺経営者協会事務局内
- 東大阪最低賃金相談支援コーナー TEL 06-6789-0032
東大阪市小阪3-4-C-214 東大阪経営者協会事務局内

お問い合わせ先 大阪労働局労働基準部賃金課（06-6949-6502）

O B M行事予定

10月	25	火	KYT(危険予知訓練)実務講習会 KKC マンション管理業務主任者受験対策セミナー
	26	水	
	27	木	KKC 総会・理事会
	28	金	KKC マンション管理業務主任者受験対策セミナー
	29	土	
11月	30	日	
	31	月	
	1	火	
	2	水	KKC ビル清掃入門コース
	3	木	
	4	金	理事会 KKC ビル設備積算管理講座
	5	土	
	6	日	
	7	月	
	8	火	ビルクリーニング準備講習・実技(～15日)
	9	水	経営委員会 設備保全部会(ホテルコムズ大阪)
	10	木	公益・契約事業委員会障がい者雇用支援スタッフ養成講座①
	11	金	ビルクリーニング部会
	12	土	
	13	日	
	14	月	広報委員会
	15	火	経営委員会講演会(ラマダホテル大阪) 警備防災部会
	16	水	公益・契約事業委員会
	17	木	公益・契約事業委員会障がい者雇用支援スタッフ養成講座② 設備保全部会東西交流会(見学会)
	18	金	設備保全部会東西交流会(弥生会館) KKCリスクアセスメント研修
	19	土	
	20	日	
	21	月	
	22	火	総務友好委員会 賛助会ミニ展示会・講習会
	23	水	勤労感謝の日
	24	木	公益・契約事業委員会障がい者雇用支援スタッフ養成講座③ ビル設備管理科訓練2級実技(～25日)

和歌山県ビルメンテナンス協会から平成23年
台風12号の義援金に対する御礼状が届きました。

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会
会 長 山 田 吉 孝 様

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、本県の被災に際し、貴協会からは迅速なご対応を
いただきまして、誠にありがとうございました。
本義援金は平成23年台風12号による被災者を支援する
ため和歌山県災害対策本部和歌山県庁環境生活部長室に間
違いなく届けましたことをご報告させていただきます。
被災された方々の一日も早い復興をお祈りしながら、義
援金の御礼を申し上げます。ありがとうございました。

平成23年10月23日

社団法人 和歌山県ビルメンテナンス協会
会 長 土 生 川 汎

K K Cお薦め講習会 (11月・12月)

11月・12月実施予定のK K C主催の講習会は、次のと
おりです。受講をご希望の方はお早めにお申し込みをお願い
いたします。

●ビルメンテナンス業のリスクアセスメント研修会

労働災害が一件でも起ると企業の責任(負担)は大き
いものになります。労働災害を起こさないためには、職場
の潜在的な危険性や有害性を事前に見つけ出し、これを除
去、低減しなければなりません。そのために現在では労働
安全衛生法により、リスクアセスメントの実施とその結果
に基づくリスク低減措置を講ずることが企業の努力義務と
なっています。この研修会はリスクアセスメントの手法を
学び社内で活用して労働災害ゼロを目指していただくため
の研修会です。

日 時：平成23年11月18日(金) 午後2時～午後5時
会 場：新清風ビル講習会場
定 員：30人

●ビルクリーニング技能検定受験準備講座

ビルクリーニング技能検定受験予定の方を対象に、実技
の3課題である「床表面洗浄作業」「ガラス面洗浄作業」
「カーペットの汚れ取り作業」の反復訓練を行うことによ
り、実技合格を目指します。

日 時：平成23年12月8日(木)・9日(金)
午前9時～午後5時
会 場：新清風ビル講習会場
定 員：20人

●防除作業従事者研修

「建築物衛生法」に基づき事業登録を行っている事業者
は、登録要件の一つとして、自社の作業従事者に対して研
修を計画的に行わなければなりません。

この研修は登録事業者の作業従事者が備えるべき知識、
技術、技能水準を確保することを目的としています。修了
者には、修了証書を授与いたします。

日 時：平成23年12月14日(水) 午前9時～午後5時
会 場：新清風ビル講習会場
定 員：40人

申込・問合せ：一般社団法人関西環境開発センター
教育訓練部
電話：06-6372-9123
FAX：06-6450-8038
E-mail:bmkkc@swan.ocn.ne.jp

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの
投稿を募集しています
●題材・・・自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、
俳句、川柳等々、何でも結構です。
●字数・・・15字×16～19行の間に、本
文、会社名、筆者名を全て記入して下
さい。

編集雑感

不整脈の治療で大変お世話になった
クリニックで肺の検査を受けること
になって意外な結果に唖然とした。肺年齢
が95才。喫煙を始めたのが26才から、38
年間も吸い続けたことになる。途中、何
度か禁煙を試みるがうまくいかなかった。
今年の4月5日に禁煙に成功か、6ヶ月
以上となり現在も継続し、頑張り続け
ている。

大阪狭山市の南大阪支社から大阪の本
社に転勤し、タバコの出費が無くなり減

額の小遣いの帳尻がうまいこと合い随分
と助かっている。他人の喫煙が異臭と感
じるほどになって、私も家族を含めて随
分と多くの人に迷惑をかけてきたと実感
するようになった。

禁煙のきっかけは、肺の検査の結果に
ショックを受けたこともあるが半年に一
度の検査で新たな病名の発見で、自身の
健康も考えなければと思い、先生の進め
もあって「禁煙補助薬」を服用すること
にした。昨年のたばこ増税禁煙治療を受
ける人が増え、一時、供給不足にもなっ
ている。今年の8月にこの禁煙補助薬で

意識障害の疑いがあり、服用した3人が、
自動車の運転中に意識障害に陥り、接触
事故が起きている。厚生労働省は販売製
薬会社に対し、添付文書の重大な副作用
に意識障害を追加するよう指示をした。
指示を受けて「自動車の運転等危険を伴
う機械の操作に従事させないこと」と医
師向けの指導書を改訂した。

これから禁煙を始める方、「禁煙補助
薬」を服用するには十分に医師の指導に
注意をしていただきたい。

(K・S)